

## 大工技能特待生奨学金『萌木スカラーシップ』について

令和6年度入学生より本校では大工技能に優れ京都の伝統建築技能や知識の学習をつよく希望する生徒を対象として特待生奨学金「萌木スカラーシップ」を設けました。

ここ数年、すぐれた木工技能を高校時代に身に着け、しっかりとした目標をもった若者が本校に入学、建築科の生徒のおよそ半数が大工を目指す中、大工経験のない仲間たちに意欲的な木工技能の学びの範となり、町家改修などの課外活動においては牽引役として学校の教育実践に大いに貢献しています。また本校に日頃より関心を寄せていただいている京都の伝統木造にかかわる工務店や大工たちの目に止まり、将来の活躍を期待される存在となっています。

京都での伝統建築の学び、建築設計や諸技術学の習熟を希望する若者を本校建築科にて特待生として迎えます。

(本校と特待奨学金については以下の頁をご覧ください)

令和5年3月21日

学校法人京都建築学園 京都建築専門学校 校長 佐野春仁

## 令和6年度大工技能特待生奨学金制度「萌木スカラシップ」について

対 象： 京都建築専門学校建築科(昼間部)入学を希望し、伝統大工技能に優れる者  
(大工技能検定2級程度)で、京都において伝統木造構法技術の学習に意欲を  
もつ者、若干名

給付額： 入学時50万円、2年進級時50万円  
2年次は1年次の状況を見て継続するかどうか判断する

募集時期： 令和6年度入学希望生より開始。

選定方法： 希望者は第一次選考(8月下旬)もしくは第二次選考(10月下旬)の  
選考面接の前に、本奨学金申込書ならびに所属高校の指導教員もしくは  
学校長の推薦書および高校在学時の制作品を解説する文書(写真添付)を  
添えて提出する

\*奨学金申込書の項目

- a 基本事項 氏名、生年月日、年齢、高校名、学科、住所など
- b 建築大工技能の実績(建築大工技能検定など)
- c 高校時代の木工作品の説明(写真を添える)
- d 京都の本校での学習意欲を伝える文書
- e 将来の希望

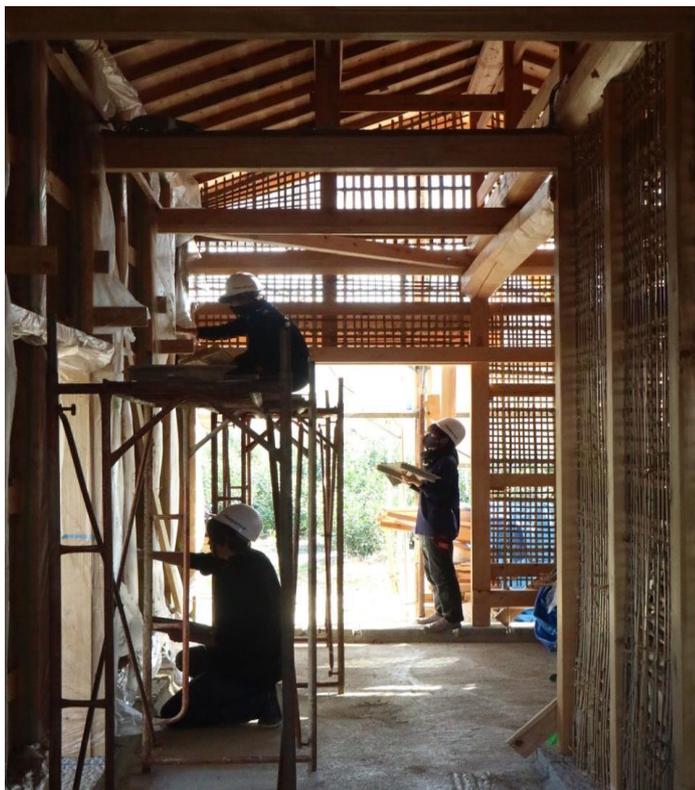
事前相談： 上記特待生奨学金を希望される場合は学校に事前にご相談ください  
(提出書類などについてお話しいたします)



令和3年度卒業制作木工コース「仁王門通りの長屋改修」にて  
屋根も壁も落ちていた明治中頃の長屋のほぼすべての部材を生徒たちで刻み、組み上げ、土壁塗りをしま  
した。箱階段は昨年の一年生の作品。(学校HPをご覧ください)

## 京都建築専門学校について

- \* 戦後間もなくの頃、京都の大工組合が新しい時代の子弟教育のために設立、今年で73年になります。
- \* 本校舎は京都府庁前に所在、京都御所、二条城が近くにあり、町家校舎が人気です。
- \* 2年制の建築科（昼）と建築科二部（夜）は定員60名、別科・伝統建築研究科も定員30名の小さな学校で、生徒は全国各地から来ています。
- \* 建築士あるいは施工管理士の資格のための建築諸科目の講義、設計演習、伝統建築見学、木工基礎実習などのほか、町家、インテリア、設計論、規矩術などのゼミ、林業地での木匠塾合宿活動、卒業制作として、設計コースの他、町家や古民家の改修・新築等を実際に行う木工コースもあります。
- \* 毎年の学園祭には堀川遊歩道に茶室を設計、建設し、お茶部サークルで市民の方にお茶を振る舞う堀川茶室が好評です。
- \* 卒業後は京都・大阪ないし出身地の設計事務所・建設会社・工務店に就職し、施工管理、大工、設計、その他住宅会社、不動産、行政、大学編入などに進んでいます。



令和2年度卒業制作木工コース「宇治市歴史公園茶園覆小屋新築工事」にて

宇治の木、宇治の土、宇治の古瓦を用いて石場立ての小屋を学生たちで設計、建設。詳しくは学校 HP をご覧ください。

**萌木スカラシップについて：**

このほど伝統構法に関する啓蒙と教育の実践を期し、伝統木造の技能と技術を学ぶ若者を奨励する奨学金制度を本校において希望される方からのご寄付を原資として設けることとなった。制度の名称はご寄付いただいた方の命名により、「若葉が芽吹き始めた若者たち」を支援したいの意とのことである

**その他の奨学金制度：**

経済的困難にある場合には、国の高等教育の修学新制度および日本学生支援機構の奨学金（給付・貸与）が受けられますので、併せてご検討ください。



堀川茶室 2019 より

毎年の学園祭に学校近所の堀川遊歩道に設計、素材探し、建設。茅葺から土壁塗りまですべて生徒が放課後に行います。お茶部サークル生がお茶とお菓子を振舞い、好評です。卒業生も楽しみに来てくれます。今年で14年目になります。